

チャペル週報

No.21

2021.11.15～11.19

見よ、わたしはあなたの前に門を開いておいた。

だれもこれを閉めることはできない。

(ヨハネの黙示録 3章8節)



くすのきとランバス記念礼拝堂（西宮上ヶ原キャンパス）

関西学院宗教センター

太宰治とキリスト教

藤田喜代志

太宰治は、近代日本の作家の中で、最も熱心に聖書を読んだ一人であった。もう一人は、彼が尊敬していた芥川龍之介である。自殺した芥川の枕元には、睡眠薬の瓶と聖書が置かれていた。その聖書を取り上げて歩み始めたのが太宰治だと、故佐古純一郎は評した。至言である。

太宰を聖書に近づけた功労者として、無教会派の信徒、故鰐崎潤がいる。昭和 11 年、太宰の親戚の画学生を通じて、鰐崎は太宰と会う。そして、内村鑑三の弟子、塚本虎二発行の雑誌『聖書知識』を勧めた。以来、太宰のキリスト教に対する理解が深まる。関西学院大学文学部日本文学科在学中、指導教授のお供をして、鰐崎潤にお会いしたことがある。該博な知識もさることながら、その温厚篤実な人柄が強く記憶に残っている。薬物中毒のために狂乱の中にあつた太宰も、鰐崎の話であれば聞くことができたのであろう。

「反キリスト的なものへの戦い」のために、太宰は、絶筆となったエッセイ『如是我聞』（昭和 23 年）を書く。そして、志賀直哉を始めとする「老大家」たちの権威主義、すさまじい自己肯定、それによる不感症を攻撃する。つまり、「反キリスト的なもの」とは、世俗のことだと言えはしまいか。イエス・キリストが戦われたのも、当時のユダヤ社会の「老大家」に対してであった。世俗の本質は、衆を恃むことにある。「徒党は、政治である。そうして、政治は、力だそうである。(略) しかもその力の、頼みの綱とするところは、やはり“多数”というところにあるらしく思われる。」(『徒党について』昭和 23 年)。この世の様々な場に当てはまる言葉である。戒めとしたい。

昨年八月、太宰の生家「斜陽館」と、その裏にある「太宰治疎開の家」を訪れた。見学の後、「疎開の家」の館長とお話をした。「地元で 80 歳以上の人たちは、太宰のことを金持ちの馬鹿息子としか思っていません。」という言葉が印象的であった。自らをキリストに擬して時代と社会を批判した太宰も、故郷では形無しであった。正に、「預言者は己が郷にて尊ばれることなし」(文語訳聖書、ヨハネ伝福音書 4 章 44 節) である。

(高等部教諭)

チャペルアワー スケジュール

西宮上ヶ原キャンパス、西宮聖和キャンパス・・・10:30-11:00

神戸三田キャンパス・・・10:40-11:10

11/15 月

神 加藤 満 (神学研究科 M2)
経 人間を考える⑤ 中川 慎二 (経済学部教授)
人 嶺重 淑 (宗教主事)
建 宗教総部
聖和 聖書物語 小見のぞみ (聖和短期大学宗教主事)

16 火

文 Andreas Rusterholz (宗教主事)
社 共感する力④ 鳥羽 美鈴 (社会学部教授)
法 Christian M. Hermansen (宣教師)
経 宗教総部 場所: B 号館 301 教室
商 水野敬三 (商学部教授)
〔オンラインにて実施: 学生キャビネット「商学部チャペルアワー」を参照〕
国 動画配信 URL: <https://www.kgsisxp.com/> [KG SIS キリスト教サイト]
理・工・生環 皆本礼子 (工学部長田研究室秘書) (オンライン実施: KG_STBE_chapel で検索)
総 安藤真子 (総合政策学部卒業生)
教 音楽チャペル 高松歩未 (オルガニスト・教育学部3年生)、
平江咲菜 (同3年生)、福見暢基 (同4年生)

17 水

神 Daniel H. Dellming (高等部教諭、宣教師)
社 共感する力⑤ Hans Peter Liederbach (社会学部教授)
法 浅尾昂司 (法学部教材開発室)
商 木原桂二 (宗教主事)
〔オンラインにて実施: 学生キャビネット「商学部チャペルアワー」を参照〕
国 動画配信 URL: <https://www.kgsisxp.com/> [KG SIS キリスト教サイト]
理・工・生環 成田いうし (日本キリスト教団 磐上教会 牧師)
(オンライン実施: KG_STBE_chapel で検索)
教 中井珠恵 (市立川西病院チャプレン・カウンセラー)

18 木

文 動画配信、学生キャビネット「チャペルアワー」を参照
社 共感する力⑥ 松宮 園子 (社会学部教授)
法 岩村義雄 (神戸国際キリスト教会牧師)
経 宗教総部 場所: B 号館 301 教室
商 木原桂二 (宗教主事)
〔オンラインにて実施: 学生キャビネット「商学部チャペルアワー」を参照〕
人 李 善恵 (宣教師)
国 Chapel in English Eun Ja Lee (宣教師)
総 村田俊一 (総合政策学部教授)
聖和 収穫感謝礼拝①

19 金

神 いのちを考える⑤ 橋本祐樹 (神学部准教授)
文 動画配信、学生キャビネット「チャペルアワー」を参照
経 経済学と聖書 井口 泰 (経済学部教授)
* 経済学部 HP 参照
院 韓宣榮 (神学研究科 M2) 場所: 大学院 1号館 205 教室
理・工・生環 Christian Triebel (宣教師) (オンライン実施: KG_STBE_chapel で検索)

◇ランバス早天祈祷会 毎週金曜日 8:10~8:30 Zoomにて開催

11月19日(金)「言語コミュニケーション文化研究科のために」 上田和彦(研究科長)

ZoomのURL, ID, PWについて、学生で興味のある方は shukyocenter@kwansei.ac.jp 宛に「学籍番号」「氏名」をメールしてください。教職員は kwic をご確認ください。

● ボランティアに関心がある皆さんへ (ヒューマン・サービス支援室からお知らせ)

ヒューマン・サービス支援室では、単発でのボランティア活動や継続して関わるボランティア団体・ボランティアサークルの紹介を行っています。「何をしたらいいかわからない」という人も、コーディネーターと一緒に話しながらボランティアを探せるので、気軽にご来室ください。

[開室日程]

西宮上ヶ原キャンパス：平日 8:50~16:50

神戸三田キャンパス：平日火・水・木曜日の 10:30~17:00 (授業期間中のみ開室)

オンライン：平日 8:50~16:50 で相談可

※オンライン相談を希望される場合は下記よりご予約ください。

<https://onl.tw/UBvnyqX>

● コロナ禍で今私たちにできること～関学生の家にある本で全国に医療物資を届けたい～

学生ボランティアコーディネーター(学生CO)から、ボランティア・チャリティイベントのお知らせです。名前の通り、関学生・教職員の皆さまに、家に眠っている本(不要になった本)を寄付していただきたいと考えております。

[開催日程] ・西宮上ヶ原キャンパス 吉岡記念館 1階ラウンジ

11月15日(月)~19日(金) 10:30-16:20

・西宮聖和キャンパス ラーニングコモンズリプラ

11月16日(火)~18日(木) 10:30-16:20

・神戸三田キャンパス II号館 210教室

11月16日(火)~18日(木) 10:30-16:20

詳細は下記よりご覧ください。

<https://kwic.kwansei.ac.jp/portal/home/information/detail?informationId=137236&directLink=1>

● 関西学院会館ベーツチャペル日曜礼拝

授業期間中の第二・第四日曜日(原則)の10:00~11:00に関西学院会館ベーツチャペルでは日曜礼拝を行っております。

どなたでも(クリスチャンでなくとも)ご参加できますのでどうぞお越しください。

11月28日(日) 10:00~11:00

● CD・DVDライブラリー利用について

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員(学生証または身分証明書必要)であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

● 盲導犬育成のためご協力をお願いします

関西学院宗教活動委員会は、目の不自由な方々の社会参加促進を願い、社会福祉法人「日本ライトハウス」の募金活動に協力しています。吉岡記念館事務室はじめ各学部カウンターに募金箱を用意しておりますので皆様の温かいご協力をお願いいたします。

● 「チャペル週報」のバックナンバー(2005年以降)は下記で閲覧できます。

URL：<https://www.kwansei.ac.jp/about/chapel/weekly/>



関西学院宗教センター

<https://www.kwansei.ac.jp/about/chapel/>

